

地鎮祭

名称
意義

「とこしずめのまつり」「じちんさい」「じまつり」などいろいろ呼び名があります。
建物の新築、あるいは各種土木工事の起工に際して、その土地の守護神をまつり、工事の無事進行、完成と土地建物の安全堅固を祈る祭りである。

- 一、祭場は、建物の中心に南向き、または東向き（参列者は北向き、西向き）とする。
- 一、齋竹（いみたけ）は、葉つきの笹竹を祭場の四隅に立て、竹の上部（高さ二メートル位）に、右奥、右手前、左手前、右奥の順に一問四方に注連縄（しめなわ）を張る。
- 一、齋砂（いみすな）、盛砂ともいい、海砂または山砂を円錐状に盛る。

◎準備していただくもの

①縄 新しい（未使用の）もの

②竹 笹竹四本

③砂 バケツ三杯位

④神饌 お供えものとして

◇米一升（丸盆に入れて） ◇酒一升 ◇魚（お頭つき 一般的には二尾）

◇野菜、海藻、果物は二〜三種類ぐらいつつ ◇塩（中皿山盛り）

◇水（コップ一杯）

⑤その他 ◇初穂料 ◇お神酒びらき用のコップ（参列者の人数分）

◎祭壇、神垂（しで）は当方で準備します。

坂元神社々務所

山元町坂元字町一八

電話 〇三三三（三八）〇四五〇

F A X （三八）一四八五